



鶏 鳴

2010年4月11日(第35号)

イエスの言葉

『人はたとえ全世界を手に入れても自分の命を失ったら何の得があるか。自分の命を買い戻すのにどんな代価を支払えようか』

聖書(マルコ福音書8章36節 37節)

牧師 河合裕志

イエスはずいぶんと思いついたことを言う。全世界と自分の命をテンピンにかけている。どっちが重い？ それは当然全世界の方でしょうと答えたくるけど、おっとどっこいそれがそうではない。自分の命の方が重いと、価値があると。

それって、にわかには信じられない。全世界、そこには沢山の国々があり金銀財宝がある。こうした総計よりも人一人の命の方が値は高いと。どんな代価を積立ててもひと度失われた命は買い戻せない。

それはそうかも知れない。人の命は全世界より重いとされると、そうかなあ、と思ってしまうけど、いったん失われた命は買い戻せないということならわかる。その意味で全世界より重いということならわかる。それはそれに違いない。

①まず命は一回限りということでしょう。Aさんが死んだらこれをもう一度この世にバックさせることは出来ない。巨万のお金を積んでも。二度も三度も生れ変わるわけには行かない。人生は一回限り。だから人の命は尊い。

②それから一個一個の命はとても個性的ということ。AさんはあくまでAさん。Aさんの外面、内面が100%そっくりさんという人はこの世に二人としていないので

は。だから尊い。あなたの代替は世界どこを捜してもいない。ロボットとは違うんだ。

③イエスが人の命と言った場合、それは神によって創造された命、といった思いがあったのでは。だから尊い。神なんて持ち出されると困る？ 人間は下等な生物から進化発展して人間になったんでしょう？ これは科学の考え方。これに特に反対しないけど、そうして人間が生まれて来たとしてもその背後に大いなる者＝神の意志が働いて人間はある、あなたは存在、たまたま偶然的に居るのではないということ。

④両親より授かった命、だから尊い。あなたは両親の愛の結晶ということ。そして親は懸命に育ててくれた。愛情を一杯に注いで。衣食住、何不自由なく。共に喜び共に悲しんでくれた。誠に親より深い愛はない。

以上四つばかり述べてみた。全世界より尊い命。人はこれを勝手に処分してはいけない。自殺も他殺もいけない。車を運転する人も十分に気をつけてほしいもの。戦争もよくない。互いの命を大事にする日本にしたい。

集会案内

主日礼拝 : 毎日曜日午前10時15分

主日夕拝 : 毎日曜日午後6時

子どもの教会 : 毎日曜日午前9時

中高校生会 : 毎日曜日礼拝後

おしゃべり会 : 毎木曜日午前10時

聖書を学ぶ集い : 第4水曜日午前10時